



ユニチカ株式会社

2025年3月期
第2四半期(中間期)
決算の概要

2024年11月8日

2025年 3月期 中間期実績

- 〉 食品包装用途、電気電子用途、生活資材用途などで販売が回復。各製品で価格改定を実施し、売上高は616億円（前期比+35億円）となった。価格改定の効果と、経費削減などのコストダウン施策の実施により、営業利益は22億円（前期比+40億円）となった。
- 〉 前期末対比で円高が進んだため、外貨建て資産の評価損を中心に、為替差損9億円を計上した結果、経常利益は12億円（前期比+11億円）となった。
- 〉 連結子会社「P. T. EMBLEM ASIA」（以下『エンブレムアジア』）が保有する固定資産に対し減損損失107億円を計上。この結果、親会社株主に帰属する中間純利益は▲98億円となった。

2025年 3月期 通期業績予想

- 〉 通期の業績予想を下記の通り修正。
 5月公表 売上高: 1,200 営業利益: 30 経常利益: 14 当期純利益: 4 (億円)
 今回修正 売上高: 1,200 営業利益: 30 経常利益: 14 当期純利益: ▲103 (億円)
- 〉 減損損失計上の影響により、親会社株主に帰属する当期純利益を▲103億円に修正。売上高、営業利益、経常利益については、5月に公表した予想を据え置く。

- 1 2025年3月期 中間期決算概要**
- 2 各事業セグメントの状況**
- 3 2025年3月期 通期業績予想**

売上高

616億円 (前年同期 580億円 / 前年同期比 +35億円)

食品包装用途、電気電子用途を中心に幅広い分野での販売数量増と、各製品の価格改定の効果により、前年同期比6.1%の増収。

営業利益

22億円 (前年同期 ▲18億円 / 前年同期比 +40億円)

価格改定の実施とコストダウン施策の実行、および販売数量増の効果により、前年同期の赤字から黒字に転換。

経常利益

12億円 (前年同期 1億円 / 前年同期比 +11億円)

円高による外貨建資産の評価損を中心に、為替差損9億円を計上。
2024年3月末為替レート：1ドル=151円に対し、9月末：1ドル=143円

親会社株主に
帰属する
中間純利益

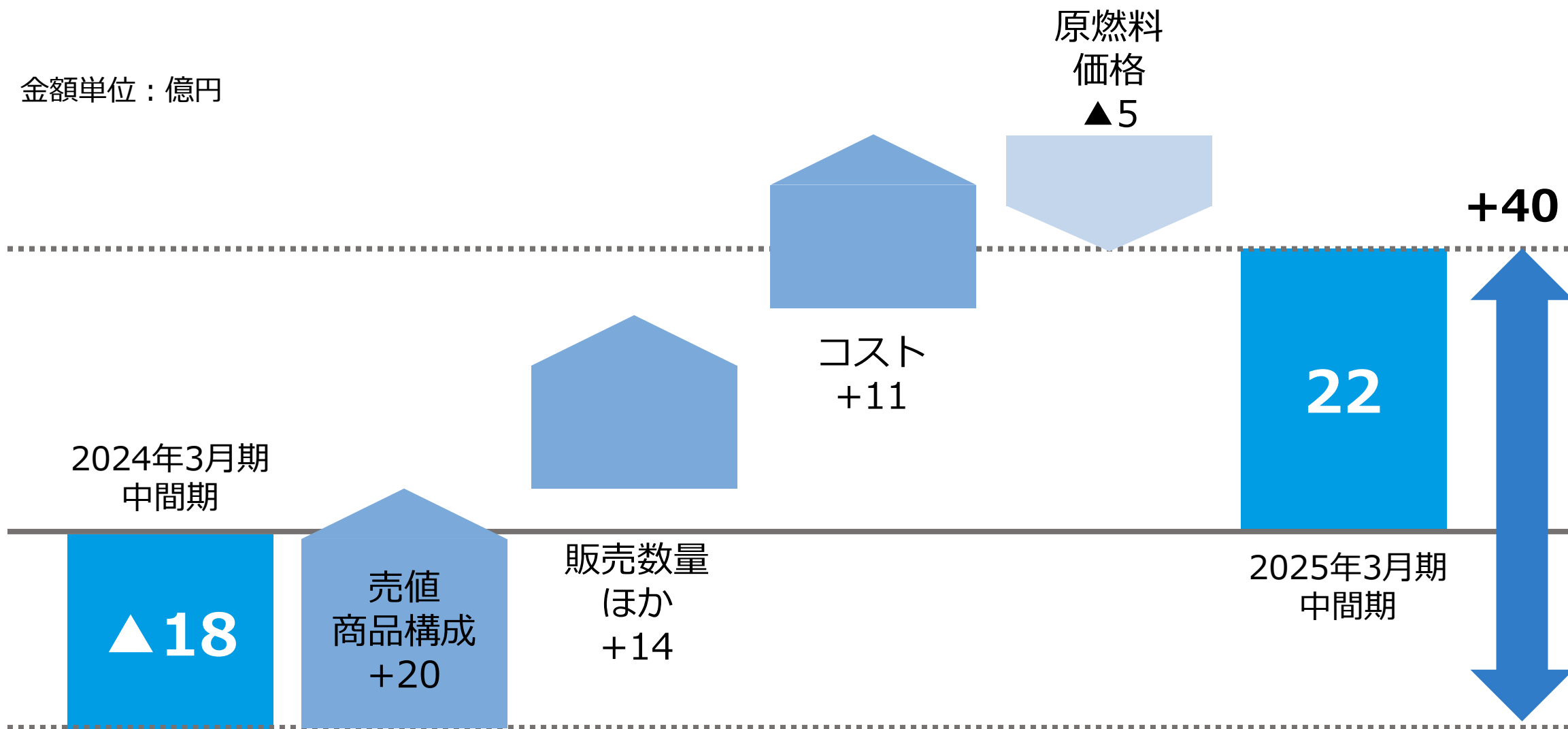
▲98億円 (前年同期 ▲4億円 / 前年同期比 ▲94億円)

東南アジアにおける海外安価製品との競争激化に伴う業績悪化を背景に、将来の回収可能性を判断した結果、エンブレムアジアの固定資産に対し、107億円の減損損失を計上。

連結合計 (単位：億円)	2023年3月期 中間期実績	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期 中間期実績	前々年同期比	前年同期比
売上高	591	580	616	+24	+35
売上総利益	128	89	123	▲5	+34
営業利益	15	▲18	22	+7	+40
営業利益率	(2.6%)	(▲3.1%)	(3.6%)	—	—
経常利益	39	1	12	▲27	+11
特別利益	0	0	2	+2	+2
特別損失	5	3	109	+105	+106
親会社株主に帰属する 中間純利益	29	▲4	▲98	▲128	▲94
減価償却費*	21	27	24	+3	▲2
設備投資*	38	34	18	▲20	▲16

* 減価償却費、設備投資額は無形固定資産分を含まない

金額単位：億円



(金額単位：億円)	2024年 3月末	2024年 9月末	前期末比 増減
資産合計	1,863	1,764	▲100
流動資産	728	736	+8
固定資産	1,136	1,028	▲108
負債合計	1,481	1,457	▲23
純資産合計	382	306	▲76
株主資本	333	234	▲98
その他の 包括利益累計額	35	60	+25
非支配株主持分	15	12	▲3

(金額単位：億円)	2024年度 3月期 中間実績	2025年 3月期 中間実績	前年同期比 増減
営業活動CF	49	49	+0
投資活動CF	▲31	▲19	+12
財務活動CF	0	▲2	▲2
(金額単位：億円)	2024年 3月末	2024年 9月末	増減
現金・現金 同等物残高	102	132	+30

設備投資の抑制等によりフリーキャッシュフロー及び
現預金残高が増加。

セグメント別 (金額単位：億円)	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	580	616	+35	+6.1%
高分子事業	260	281	+21	+8.0%
機能資材事業	165	184	+19	+11.3%
繊維事業	155	150	▲4	▲2.8%
その他	0	0	+0	+37.9%
営業利益	▲18	22	+40	-
高分子事業	1	27	+26	27.8倍
機能資材事業	▲14	2	+16	-
繊維事業	▲4	▲6	▲1	-
その他	▲0	▲1	▲0	-

金額単位：億円		2024年 3月期中間	2025年 3月期中間	増減
売上高		260	281	+21
	フィルム	169	178	+9
	樹脂	63	69	+5
	他	28	35	+7
営業利益		1	27	+26

フィルム事業

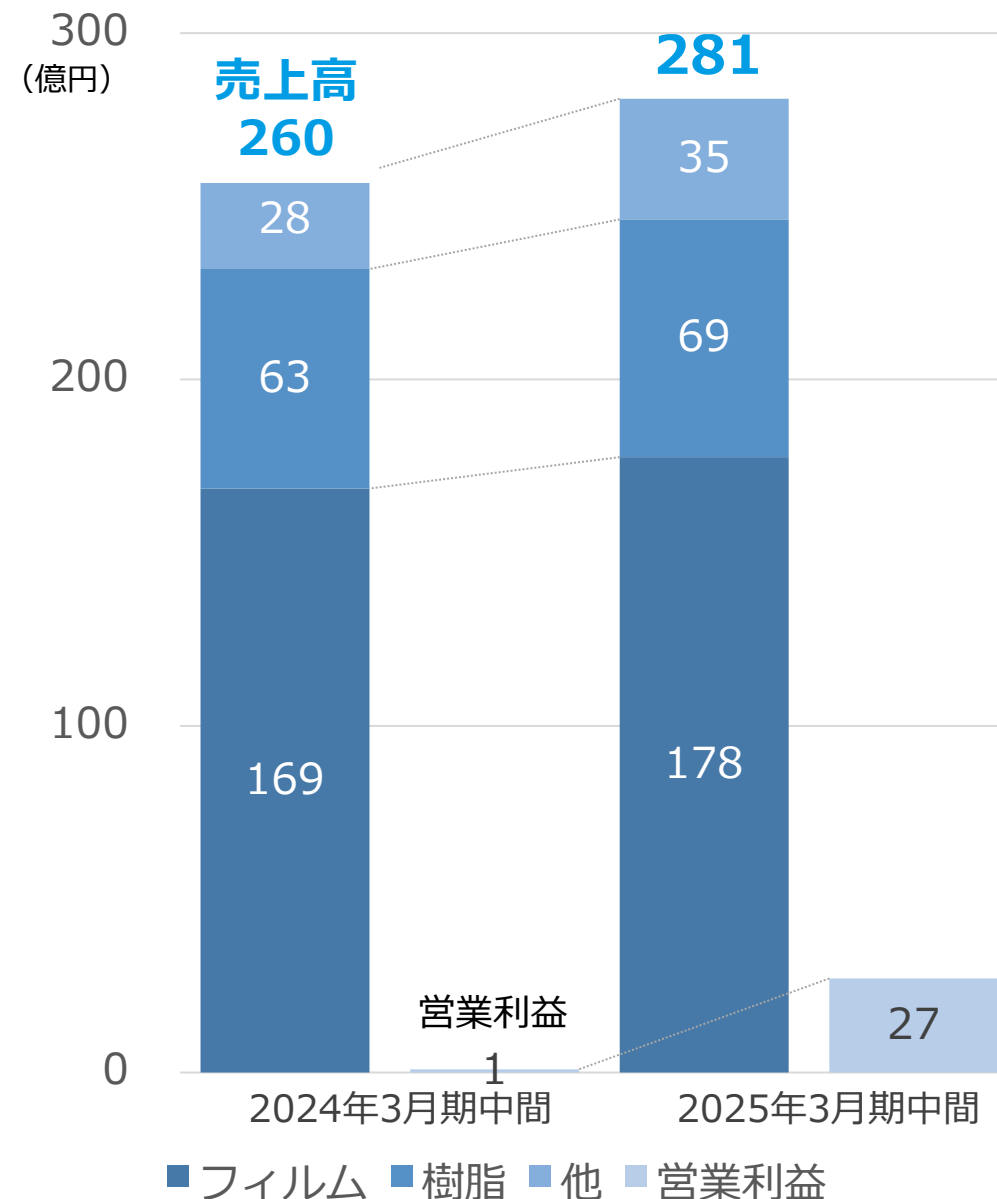
包装用フィルムはナイロン、ポリエステルともに販売量が回復。ハイバリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の販売は引き続き好調。工業用フィルムは、半導体用途市況の回復により、シリコンフリー離型フィルム「ユニピール」などの販売が回復。

樹脂事業

エンプラは自動車、電気電子用途の販売が緩やかに回復。機能樹脂は変性ポリオレフィンエマルジョン「アローベース」が、水系接着剤用途で販売を伸ばした。

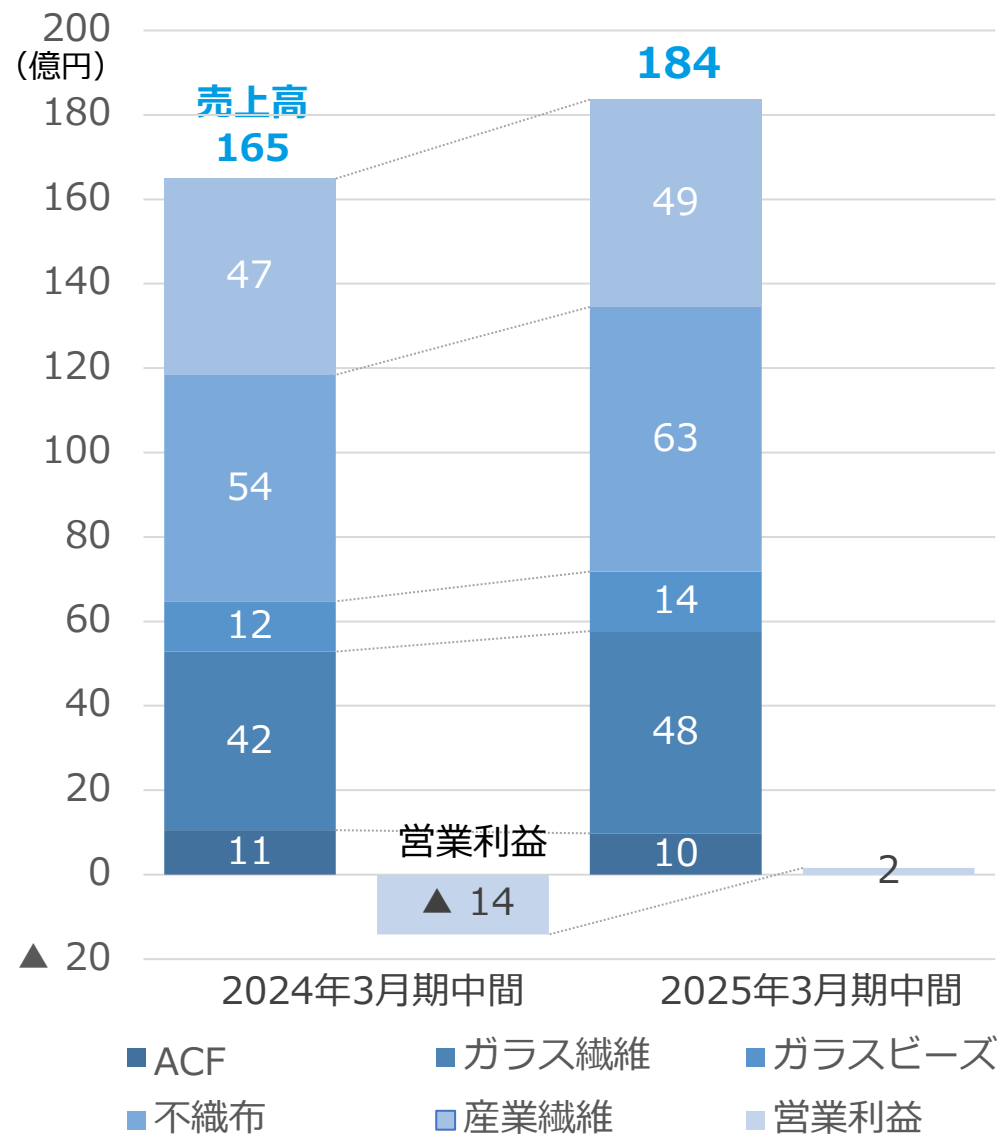
セグメント営業利益

販売数量の増加、価格改定の効果に加え、コストダウン施策の実施、生産増に伴う製造コスト低減の効果により、増益を実現。



金額単位：億円

	2024年 3月期中間	2025年 3月期中間	増減
売上高	165	184	+19
活性炭繊維 (ACF)	11	10	▲1
ガラス繊維	42	48	+6
ガラスビーズ	12	14	+2
不織布	54	63	+9
産業繊維	47	49	+3
営業利益	▲14	2	+16



活性炭繊維 (ACF) 事業

浄水用途は住宅着工件数の減少の影響などにより販売減。めっき液フィルター用途は電子部品の需要回復に伴い販売回復。

ガラス繊維事業

産業資材分野は各用途で堅調。電子材料分野は、ハイエンドメモリ向けを中心にパッケージ基板向け高機能ガラスクロスの販売が伸長。

ガラスビーズ事業

道路用途は工事件数減少の中シェアの拡大に成功。工業用途では高機能ガラスビーズの販売が増加。

不織布事業

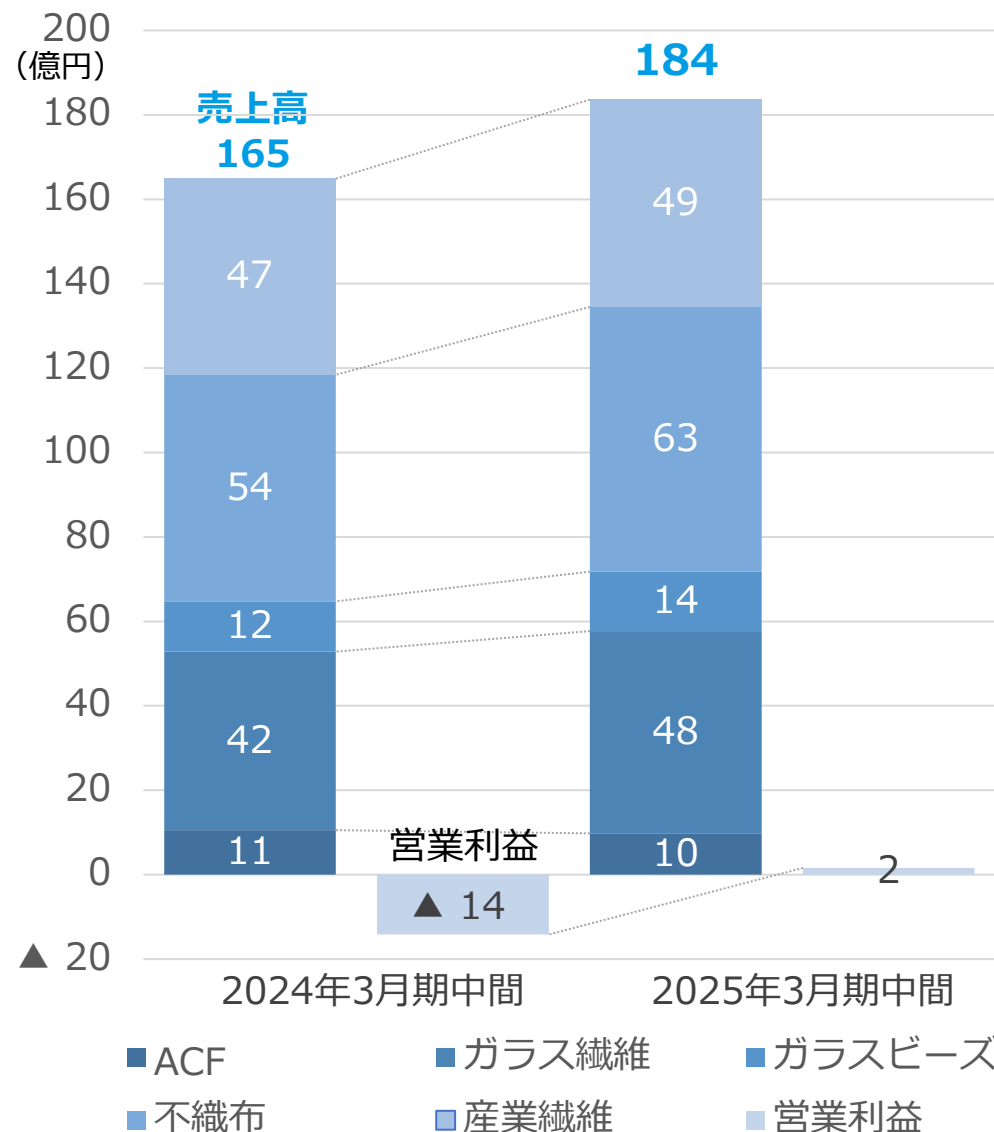
土木用途、生活資材などの販売が堅調。コットンспанレースは猛暑影響で汗拭きシートなどのスキンケア用途が増加。

産業繊維事業

ポリエステル高強力糸の販売が低調も、ポリエステル短繊維はフィルター用途を中心に販売が増加。

セグメント営業利益

販売数量の回復、価格改定による売上高の増加と、コストダウン施策の効果을合わせ、セグメント営業利益が黒字転換。



金額単位：億円

	2024年 3月期中間	2025年 3月期中間	増減
売上高	155	150	▲4
衣料繊維・他	155	150	▲4
営業利益	▲4	▲6	▲1

衣料繊維事業

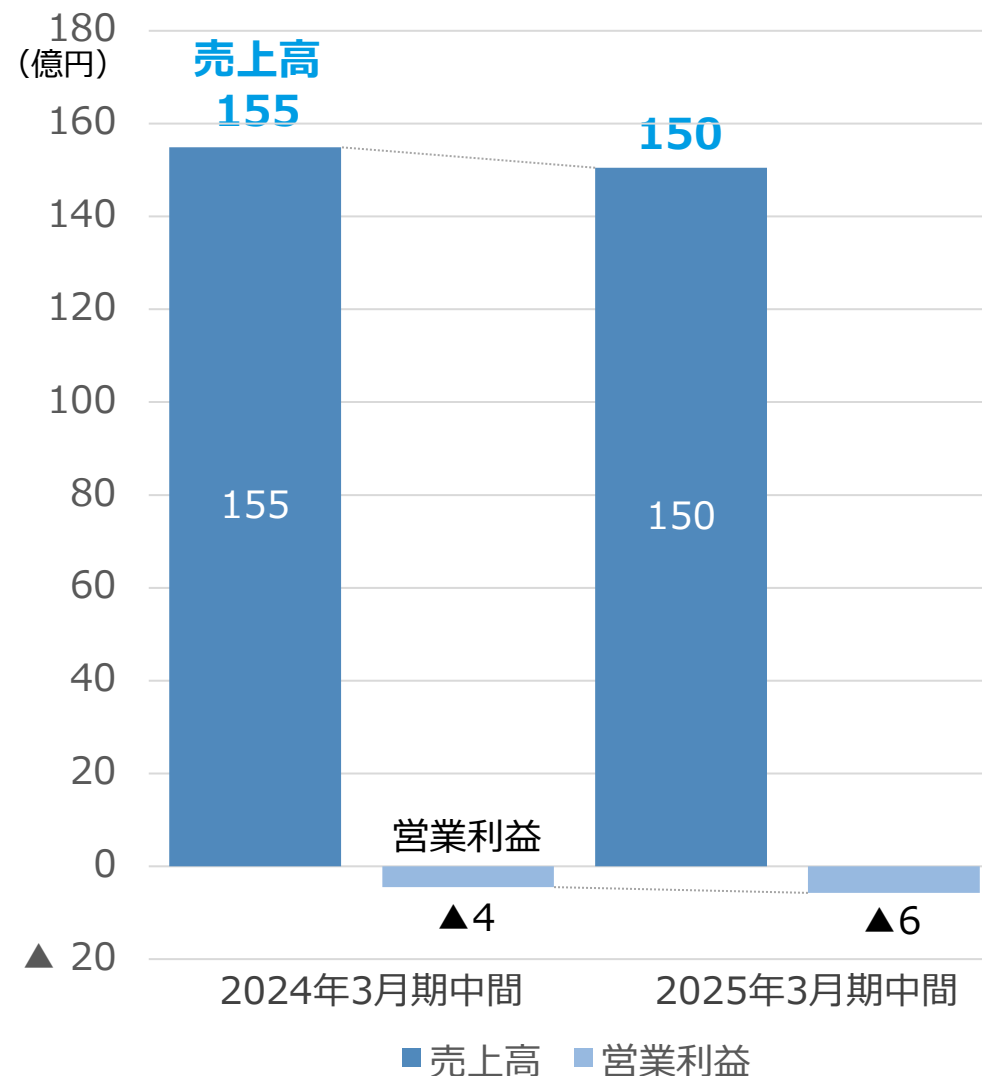
ユニフォームの販売は官需は堅調であったが民需は全体的に低調。一般衣料、寝装、スポーツ衣料分野は需要低迷が続き苦戦。

産業資材事業・グローバル事業

産業資材事業は、土木関連は低調、電子部品関連は好調で全体では横ばい。グローバル事業はデニム生地 of 輸出販売が回復した。

セグメント営業利益

販売の低調に加え、円安によるコストアップ影響が大きく、価格改定やコストダウン施策の効果を上回った。



(金額単位：億円)	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想 (今回修正)	前期比 増減	2025年 3月期 中間実績	対予想 進捗率	2025年 3月期予想 (5月公表値)
売上高	1,183	1,200	+17	616	51.2%	1,200
営業利益	▲25	30	+55	22	74.4%	30
経常利益	▲10	14	+24	12	82.2%	14
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲54	▲103	▲49	▲98	-	4

※減損損失の計上を受け、親会社株主に帰属する当期純利益を▲103億円に下方修正。
売上高・営業利益・経常利益に関しては当初予想を据え置く。

※業績予想の前提

為替レート (円/米ドル)	原油価格 (ドル/バレル)
145	80

	売上高			営業利益		
	2025年 3月期 中間実績	2025年 3月期予想	対予想 進捗率	2025年 3月期 中間実績	2025年 3月期予想	対予想 進捗率
(金額単位：億円)						
高分子	281	525	53.5%	27	41	66.2%
機能資材	184	363	50.6%	2	0	-
繊維	150	312	48.2%	▲6	▲10	-
その他	0	0	-	▲1	▲1	-
合計	616	1,200	51.3%	22	30	74.5%

(金額単位：億円)		2022年	2022年	2022年	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年	2024年
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高		296	295	291	298	279	301	285	318	307	309
	高分子	127	125	124	124	127	133	125	126	141	140
	機能資材	89	88	84	82	79	86	85	92	93	91
	繊維	80	81	82	92	73	82	75	101	72	78
	その他、連結調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益		10	5	3	▲4	▲7	▲11	▲8	1	12	11
	高分子	13	10	9	1	2	▲1	1	4	15	13
	機能資材	1	▲0	▲2	▲5	▲7	▲8	▲6	▲4	▲0	2
	繊維	▲5	▲4	▲4	▲0	▲2	▲3	▲3	2	▲2	▲5
	その他、連結調整	▲0	▲0	▲0	▲0	0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0

(金額単位：億円)	2022年 1Q	2022年 2Q	2022年 3Q	2022年 4Q	2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q
高分子	127	125	124	124	127	133	125	125	141	140
フィルム	86	85	79	84	85	84	82	85	90	88
樹脂	31	32	31	32	32	32	35	35	34	34
その他	10	8	15	8	11	17	8	5	17	18
機能資材	89	88	84	82	79	86	85	92	93	91
ACF	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
ガラス繊維	24	22	19	18	20	23	23	24	24	24
ガラスビーズ	7	7	7	6	6	6	7	8	8	6
不織布	30	31	29	29	26	28	28	31	30	32
産業繊維	23	23	24	24	23	23	22	24	26	23
繊維	80	81	82	92	73	82	75	101	72	78

ご注意

**本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、
本資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績等は、今後の種々の要因によって、
本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。**